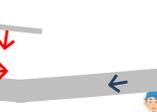


2020年8月現在

遠賀川水域と直方歴史巡り 直方駅スタート・ゴール

(全長 約7.5km)
緊急連絡先 直方駅 0949-22-2961

- 必ず準備運動を行いましょう。
- 自分のペースで歩きましょう。
- ウォーキング中の負傷等については責任を負いかねます。ご了承ください。
- 歩道が無い場所もありますので、お車には十分ご注意ください。
- 体調が良くない時は、無理をしないようにしましょう。
- 休業日や営業時間など、施設により変更の可能性があるため必ず最新情報をご確認ください。



①多賀神社



多賀神社は日本神話に登場する伊邪那岐大神(イザナギノオオミカミ)と伊邪那美大神(イザナミノオオミカミ)を祀っています。この二柱は日本神話において、天地開闢(てんちかいびやく)とお生まれになり、日本列島と八百万の神々を生み出した国産みと神産みの神様といわれています。

⑦直方谷尾美術館



1992年11月、故谷尾欽也氏が開設した美術館で、昭和初期に建てられた洋館造りの医院を外観はそのままに内部を改装しました。2000年3月にご遺族から美術館と作品の寄贈を受け、2001年4月、直方市美術館(直方谷尾美術館)としてオープンしました。
午前9時30分～午後5時00分
一般100円(60円)、大学生・高校生50円(30円)、中学生以下および障がい者の方は入館無料
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)

②石炭記念館



筑豊炭田は明治の初めから昭和51年までの約100年間に約8億トンの石炭を産出し、日本の産業発展、近代化に貢献してきました。筑豊の炭鉱が閉山によって少なくなった昭和46年7月、「炭鉱の歴史」を後世に伝えるため、直方市石炭記念館が誕生しました。入場料：一般100円 高校生50円 入館：9時から16時30分

⑥もち吉



直方本店「餅のおまつり本舗」の他、[豆腐](#)販売所やせんべいの[詰め放題](#)店舗(せんべいバイキング)など、もち吉の関連施設による店舗群「もちだんご村」があります。

③須賀神社



貞観3年4月7日(861年5月19日)の夜、武徳神社(今の須賀神社)境内に隕石が落下しました。翌日、深くえぐられた土中から黒く焦げた石が掘出され桐箱に納めて保存したという地元の伝承が残っています。隕石が納められていた桐箱の蓋の裏には「貞観三年四月七日二納ム」という墨書があります。重量472gのL6-コンドライトの石質隕石です。隕石は現在も須賀神社に保管されており、5年に一度(西暦の末尾が1または6の年)、10月の「神幸大祭」の際に一般公開されます(次回は2021年)。

④遠賀川水辺館



遠賀川地域防災施設「遠賀川水辺館」は、遠賀川の洪水被害の歴史を伝え、災害(洪水)から身を守る治水の大切さや、豊かな河川環境の保全、河川愛護活動の啓発を目的として、平成16年10月に遠賀川と彦山川の合流点に開館しました。開館 10:00

⑤餅乃神社



かつては、この一帯がもち米の産地であり、良質のもち米が獲れたことに由来すると言われています。この由緒ある土地に、お客様のご健康とご繁栄、地域の発展、そして、「餅を愛し、餅に生きる」というもち吉の米菓づくりへの想いを込めて建立されました。